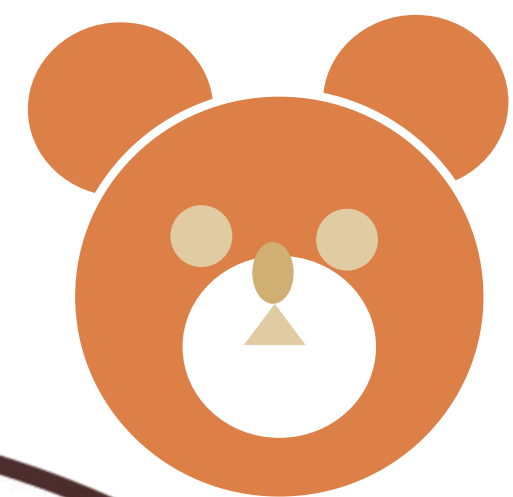


恋人同士の暴力かあ…
自分はまだ付き合っている
相手もないし、
**正直、あんまり関係ない話って
感じがする。**

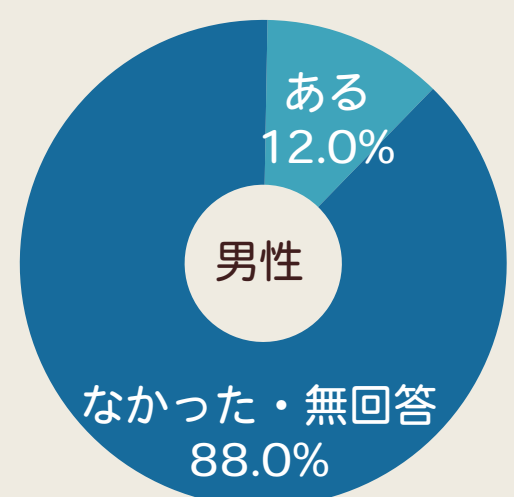
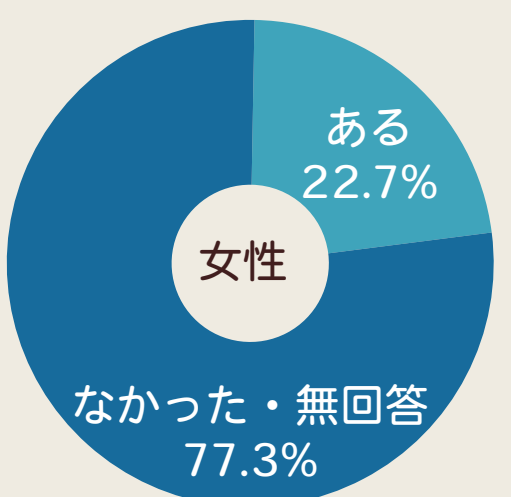
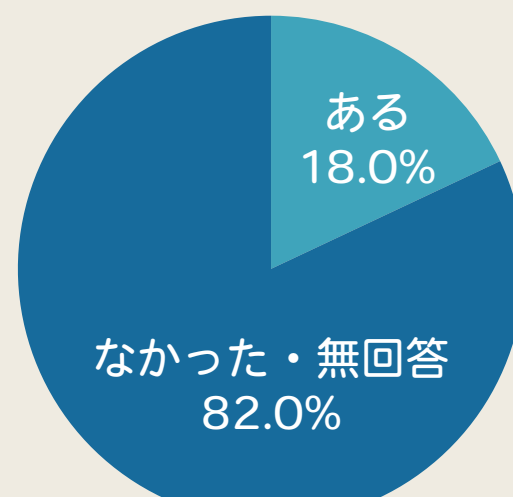
う～ん…



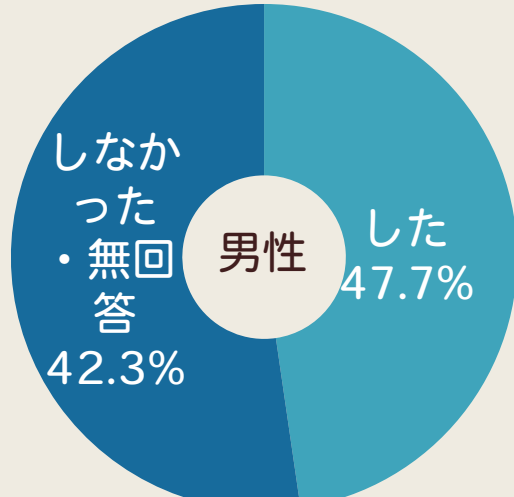
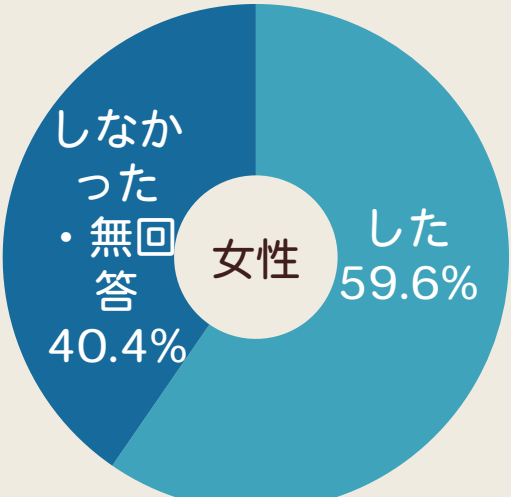
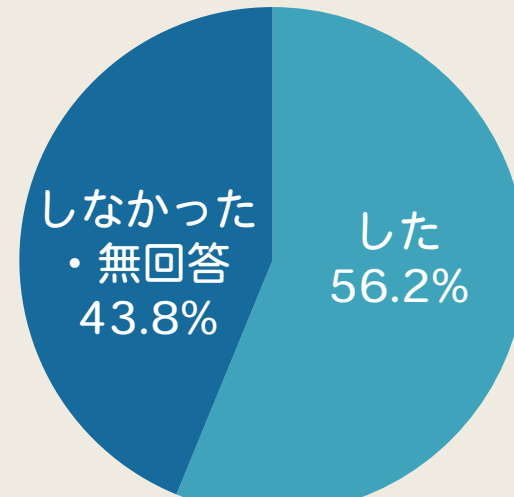
そんなことないよ！
恋人同士だけでなく、
友人関係やその他の人間関係にも
応用できる話なんだ。
それに、このことを知っておけば
身近に悩んでいる人がいたときに
力になれるかも。



Q 1. 10歳代、20歳代、30歳代で当時の交際相手から
“身体的暴行” “心理的攻撃” “経済的圧迫” “性的強要” の
いずれかの被害を受けたことがある



Q 2. 被害について相談した



(男女間における暴力に関する調査 / 内閣府・令和5年度)

10代から30代の
約5人に1人は
交際相手から被害を
受けたことがあって、
40%以上の方が
どこにも相談して
いないのか…



自分も相手もHAPPYな 関係になるために 大切なことを一緒に 考えてみましょう

自分を大切にしよう

恋人がいても、いなくても、
あなたは自分のことを自分で決められる
大切な存在です。
自分の気持ちを大切に。

おたがい対等でいよう

束縛したり、依存する関係じゃなくて、
おたがいを尊重しあえることが大切です。
年上・年下も性別も関係ないよ。

相談しよう

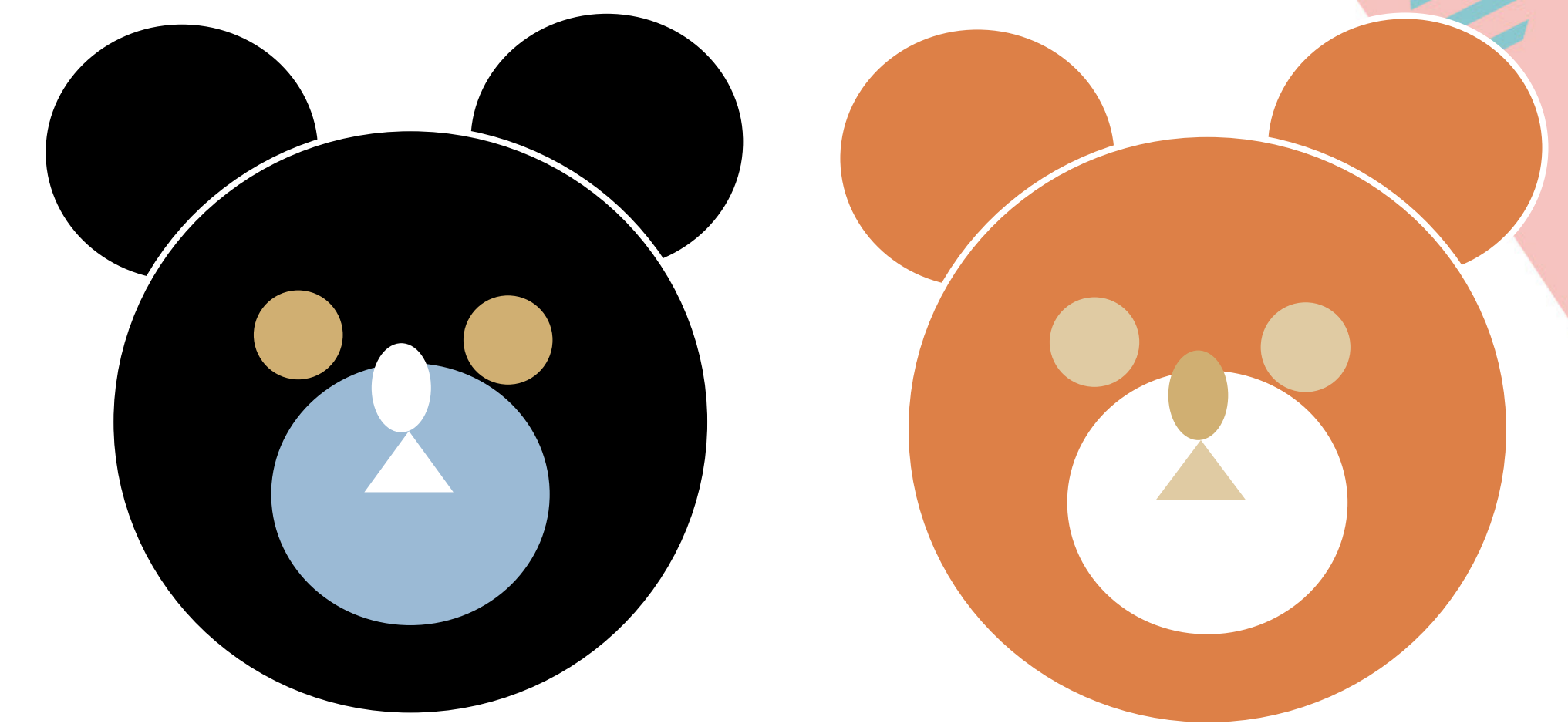
「これってデートDVかも…？」と思ったら
専門の相談窓口にご相談してみましょう。
確信がなくても大丈夫。
不安な気持ちを話してみてね。

日野市女性相談
042-587-8177
事前予約制
予約受付時間 平日 8:30~17:00
*性別を問わず、どなたでも相談できます。

日野市企画部平和と人権課
日野市立男女平等推進センター
〒191-0062 日野市多摩平 2-9
多摩平の森ふれあい館 2階
電話 042-584-2733 ファクス 042-584-2748

令和8年2月作成

デートDVってなに？



デートDVとは、
恋人同士の間で起こる
「いろいろな暴力」のこと

好きな人と一緒にいて
幸せなはずなのに…
「こわい」とか
「自分が我慢すればいいのかも」と
思うことはありませんか？

恋人がいる人も、いない人も
デートDVについて一緒に考えてみましょう！

日野市企画部平和と人権課
日野市立男女平等推進センター

「いろいろな暴力」ってどんなもの？

「暴力」と聞くと、殴ったり蹴ったりという、からだへの暴力を思い浮かべがち。でも、それだけが暴力ではありません。言葉による精神的な暴力や束縛、性的な暴力、経済的な暴力など…様々なカタチの暴力があるのです。

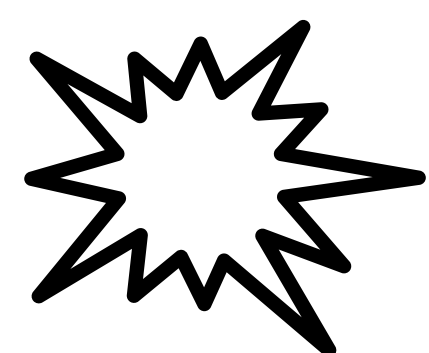
相手からこのようなことを一度でもされたことがある人は**DVの被害者**になっている可能性があるよ！

CHECK!

被害者の中には、「自分が悪いんだ」、「暴力さえなければ本当はいい人」、「愛されてる証拠だから」と思ってしまう人もいます。

相手のことを「こわい」と思ったら、それはすべて暴力。少し立ち止まって、相手との関係を考えてみてね。

からだへの暴力



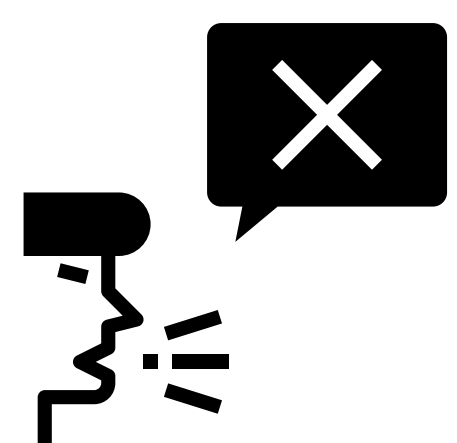
- ・ 殴る、蹴る、平手でたたく、押さえつける、つきとばす
- ・ 髪をつかんで引っ張る
- ・ 相手に向けて物を投げる など

経済的な暴力



- ・ デート代を払わせる
- ・ バイトをさせる、やめさせる
- ・ 借りたお金を返さない など

精神的な暴力



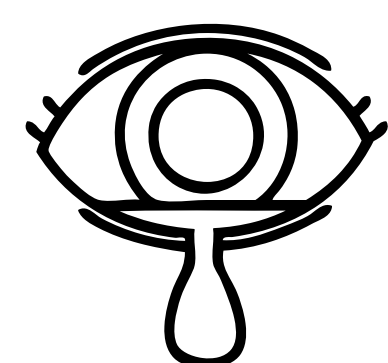
- ・ 「バカ」、「つかえない」などと相手を否定したり、けなす
- ・ 「別れるなら自殺する」などとおどす
- ・ すぐ不機嫌になり、それを相手のせいにする
- ・ 怒鳴る、無視する など

束縛



- ・ 相手が他の異性や友人と会うことを制限する
- ・ 勝手に着信やメッセージをチェックする など

性的な暴力



- ・ 無理やりキスや性行為をする
- ・ 避妊に協力しない
- ・ わいせつな動画などを無理やり見せたり、嫌がっているのに裸などを撮影する など

なるほど…「自分のせい」って思っちゃうとなかなか被害に気が付かないこともありそう。

でも、こんなことをされ続けていたら**心も体もボロボロになっちゃうよ…**

そうなる前に、**被害に気付いて、早めに相談することが大事**だね。

もし友だちが悩んでいたなら、信頼できる大人や専門の相談窓口にご相談してみるよう伝えてみてね。

→相談窓口は裏面をチェック！

POINT!

「性的同意」ってしってる？

「性的同意」とは、**性的な行為をするときにお互いの意思を確認すること**です。

考えてみよう！これは性的同意がとれている？

イヤと言われても「イヤよイヤよも好きのうち」だから大丈夫

付き合っていれば性行為するのはあたりまえ

一回OKだったら毎回確認する必要はない

イヤと言っていなかったら性行為してもOK

家に泊まるってことは性行為してもOK

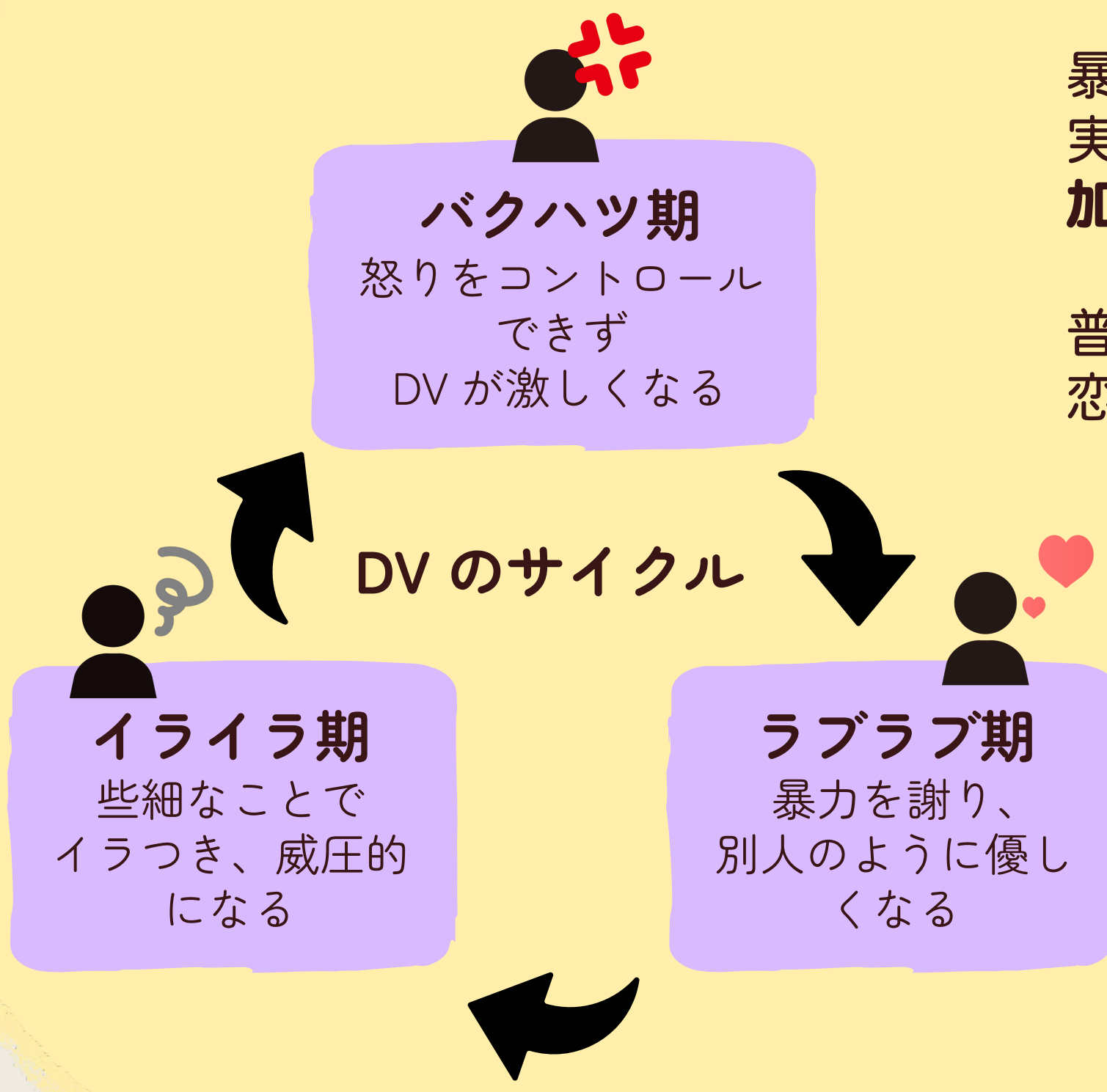
要注意！性的同意がとれているとはいえません！

「性的同意」は、**お互いが対等な立場で、心から「いいよ」って思っているか確認できているかが大事**だよ。もし自分が望んでいないなら、それを相手に伝えよう。逆に「イヤだ」と言われたら、相手の考えを尊重して受け止めることが大切だよ。先輩・後輩みたいに上下関係があって言いづらい関係性だったり、こわくて判断できない場合などは、本当の同意とは言えず、性被害や性暴力につながることも。お互いを尊重して、安心できる関係を築こうね！

「加害者」ってどんなひと？

暴力をふるう人って、どんなイメージ？実は、**年齢や学歴、仕事に関係なく、誰でも加害者になる可能性があります。**

普段は優しくてみんなから信頼されている人が、恋人にだけは暴力をふるっていることも。



左の図は「**DVのサイクル**」。DVの加害者が暴力をふるったり、優しくなったりを繰り返すことで被害者は混乱したり、「加害者から離れられない」と思ってしまうりするんだ。

このサイクルが繰り返されると、暴力がエスカレートするといわれているよ。

こわい…